

名市大 だより

最新がん手術

ロボット手術って何ですか？

名古屋市立大学大学院医学研究科 教授 瀧口修司

最近、ロボット手術という言葉
を聞かれた方もおられるかもしれ
ません。これまで前立腺がんのみ
の適応でしたが、この4月から消
化器がん(胃がん、直腸がん、食
道がん)がこのロボット手術の適
応となりました。

名市大病院には、手術支援ロボッ
ト「ダビンチXi」という最新機種
が本年1月より稼働しています。
このロボットは、人とはしゃべった
り、自動で車を作る作業はしませ
んが、操作をする術者の手の動き
を忠実に再現するロボットです。

これにより内視鏡手術の欠点とさ
れてきた鉗子の動作制限がなくな
り、腹腔内で関節を持つことができ
るため、自由度が高く、精度の
高い手術ができます。しかも、細
かな操作においては、手振れをフィ
ルタリングすることで、人の能力
を高めた作業をこなすことが可能
です。肉眼で自然な3Dを再現し
てくれるのもこのロボットの特徴
です。

これらを駆使して最近では、胃
がんの傷の小さな内視鏡手術をさ
らに安全確実に行っています。将

来は、多くの手術がロボット手術
に変わっていくものと思われま



ダビンチ Xi; 手前が術者でロボットを操作する
コンソールから手術をする。奥がロボット
アームで術者の手の動きを忠実に再現する。

瀧口教授のインタビューが

「女性なごや平成30年6月号(名市大だより)」に掲載されました。